

学校運営協議会 議事録

学校名	大阪府立大阪南視覚支援学校
校長名	松村 高志

開催日時	令和 2 年 2 月 27 日（木） 10:00 ～ 11:30
開催場所	府立大阪南視覚支援学校 校長室
出席者（委員）	委員長、委員 4 名 欠席 1 名
出席者（学校）	校長、教頭 2 名、事務部長、課長補佐、首席 4 名、部主事 4 名
傍聴者	なし
協議資料	- 資料 1 平成 31 年度 大阪府立大阪南視覚支援学校 学校運営協議会 委員名簿 - 資料 2 令和元年度 学校教育自己診断の結果について - 資料 3 平成 31 年度 学校経営計画及び学校評価について（案） - 資料 4 令和 2 年度 学校経営計画及び学校評価について（案）
備考	

議題等（次第順）

【協議】

- （１）令和元年度 学校教育自己診断の結果について （総務部長）
- （２）平成 31 年度 学校経営計画及び学校評価について （校長）
- （３）令和 2 年度 学校経営計画及び学校評価について （校長）
- （４）その他

【報告】

- （１）防犯訓練について （教頭）
- （２）学校行事・児童生徒の活躍について （中学部主事）
- （３）専修部の国家試験の見通しと新入学生の状況について （専修部主事）
- （４）その他

協議内容・承認事項等（意見の概要）

【協議】

- （１）令和元年度 学校教育自己診断の結果について （総務部長）

学校教育自己診断結果の説明（別紙参照）

- ・専修部では、1 月に学校教育自己診断の結果をもとに研修を行った。

〔質 疑〕

委 員： 評価の認識に教員と生徒で乖離があるか？

事務局： 乖離がある所とないところがある。専修部学生では厳しい意見が多い。今後、ひとつひとつ取り組んでいきたい。

委 員： 複数の項目が低い学生がいるかなど、精密にアンケート結果を確認した方が良いと思う。

委 員： 専修部の進路指導の生徒評価が低い原因は？

教 頭： 柔道整復師の開業で施術管理者研修が必要となり学生に不安がある。また、進路先も就職先

のニーズとミスマッチするケースがある。

委員： アンケートの結果を受けて、一喜一憂するのではなく、改善努力をすることが大事である。

教頭： 結果を真摯に受け止めて、改善に努めていきたい。

委員： 生徒に対して、結果への対応をどのようにフィードバックしているか。

委員： 現状では、フィードバックができていない。各々の教員・学科ごとにやっていたことを、今年度は専修部で研修を行った。

委員： 生徒に対して、努力しているということを積極的に伝えることも重要だ。

（２）平成 31 年度 学校経営計画及び学校評価について （校長）

校長より評価の説明（別紙参照）

〔質 疑〕

委員： あはきも卒後に 1 年間の研修を必須とすることを業界で検討している。柔道整復師においては、保険請求の資料を作成するのに視力が必要で、その対応も考えておかないといけない。

委員： 高等部から学齢で専修部に進級してくる学生の印象はどうか。

委員： 高等部から専修部に進級する子供の卒業後の進路はどうか。

事務局： 基礎疾患による手の巧緻性により鍼灸手技がうまく行えない場合や授業についていくのが難しい学生もいるが、多くはそれらを乗り越えて国家資格を取得している。卒業後の進路は、最近ヘルスキーパーの割合が高い。本校の学生は実技力が高く、就職先からも即戦力になると評価をいただいている。あはきへの理解を深めてもらうために高等部の生徒に授業を見学してもらったり、手の巧緻性などを見る適性検査を行っている。また、入学後すぐの 4 月に進路説明会を行い、就職を意識した学習に取り組んでもらう機会としている。

委員： 子供達が、就職への未来を明るく思い描くことができればよい。子供たちに関心をもってもらえるように、本校の実績をもっとアピールできたらと思う。

委員： 本校の臨床室であん摩を受けた時、揉み返しもなく親切な対応で本当に良かった。いつかお伝えしたいと思っていた。

事務局： ありがとうございます。

（３）令和 2 年度 学校経営計画及び学校評価について （校長）

校長より説明

・数値目標を追加しています。

〔質 疑〕

委員： 働きがいのある学校を加えた理由は。

校長： 教職員が働きやすい環境を作っていくことが大切であるため付け加えた。

教頭： ストレスチェックの本校の結果は去年・今年と支援学校の中でも非常に良い結果である。

校長： 国家試験合格率も高く、教職員のご努力の結果だと考えている。うこともありました。

（４）その他

校長： 国の G I G A スクール構想を受けて、視覚障がい教育の中に I C T をさらに活用したい。

委員： 単一障がいの生徒でも視覚支援学校が進学校なら受験すると思う。「レベルの高い教育を受けることができる。」ということ、外部にアピールしていくことも大事ではないか。

【報告】

（１）防犯訓練について （教頭）

- ・防犯訓練で、校外から入ってきた人に声掛けができていない課題が浮き彫りとなり、不審者に対する声掛けに重点を置いた追加の訓練を行った。本校では視覚障がいの教職員も多く、専修部学生は他学部の教員から見ると、外部の人なのかわかりづらい点がある。今後も定期的にこのようなことを行っていきたい。

（２）学校行事・児童生徒の活躍について （教頭）

- ・１月３０日に和歌山盲学校で開催された近畿盲学校卓球大会で多くの個人賞を獲得するとともに、団体戦では１１連覇を果たすことができた。

（３）専修部の国家試験の見通しと新入学生の状況について （首席）

- ・２月８日に実施した専修部入学者決定検査では、１１名が合格した。
- ・２月２２、２３日に行われたあはきの国家試験では現役生は合格ラインにいる。
- ・柔道整復師は３月１日に国家試験が行われる。
- ・就職は、理療科４人全員、保健理療科は１人、柔道整復科は開業を含めて４人決まっている。

（４）その他

次回の会議日程

日時	令和 ２年 ５月中旬ごろ
場所	府立大阪南視覚支援学校 校長室